【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第２区分
【発行日】平成22年3月25日(2010.3.25)

【公表番号】特表2009-524698(P2009-524698A)
【公表日】平成21年7月2日(2009.7.2)
【年通号数】公開・登録公報2009-026
【出願番号】特願2008-552613(P2008-552613)
【国際特許分類】
Ａ６１Ｋ　9/26　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　47/12　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　47/18　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　47/32　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　47/38　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　47/36　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　47/14　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　47/44　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　47/34　(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６１Ｋ　9/26
Ａ６１Ｋ　47/12
Ａ６１Ｋ　47/18
Ａ６１Ｋ　47/32
Ａ６１Ｋ　47/38
Ａ６１Ｋ　47/36
Ａ６１Ｋ　47/14
Ａ６１Ｋ　47/44
Ａ６１Ｋ　47/34

【手続補正書】
【提出日】平成22年2月5日(2010.2.5)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】請求項２４
【補正方法】変更
【補正の内容】
【請求項２４】
ａ．少なくとも１つの薬学的に許容可能な有機酸を含む有機酸コア粒子を調製する工程、
ｂ．不水溶性ポリマー単独であるいは約９５／５～約５０／５０の比で不水溶性ポリマーを水溶性ポリマーまたは腸溶性ポリマーとの組み合わせで含むＳＲコーティングで約２０％以下の重量増加で前記有機酸コア粒子をコーティングすることにより、ＳＲコーティング有機酸コア粒子を調製する工程、
ｃ．前記弱塩基性薬物またはこれらの薬学的に許容可能な塩およびポリマーバインダーを含む溶液をコーティングすることにより、および任意選択により水溶性ポリマーを含む保護シールコーティングをＳＲコーティング有機酸粒子上に塗布することにより、ＩＲ（即時放出型）ビーズを調製する工程、
ｄ．不水溶性ポリマー単独または約９５：５～約５０：５０の比での不水溶性ポリマーと水溶性ポリマーとの組み合わせのＳＲ（バリア）コーティングをコーティングＳＲビーズの乾燥重量による約１．５％～２０％の重量増加で塗布することにより、ＳＲビーズを

調製する工程、

ｅ．腸溶性ポリマーとの組み合わせで不水溶性ポリマーを含む外側遅延時間コーティングを、約９：１～１：３の比で、ＴＰＲビーズの総乾燥重量の約１０％～６０％の重量増加でＳＲビーズに塗布することにより、ＴＰＲビーズを調製する工程、および

ｆ．このような投薬を必要とする患者における１日１回の投与計画について好適な薬物動態学的プロファイルを提供するに十分な量で、ＳＲビーズおよび／または１つ以上のＴＰＲビーズ集団をカプセルに充填する、あるいは錠剤または口腔内崩壊錠に圧縮する工程を含む、請求項１に記載の多粒子剤形を調製する方法。

【手続補正２】
【補正対象書類名】図面
【補正対象項目名】図５
【補正方法】変更
【補正の内容】
【図５】

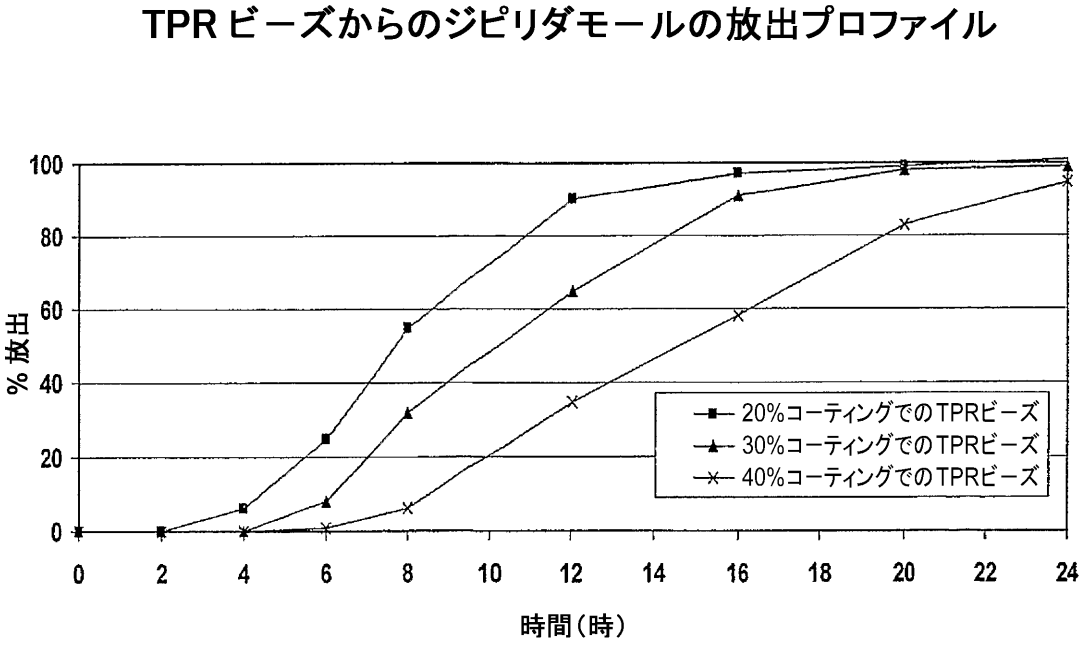


図 5

【手続補正３】
【補正対象書類名】図面
【補正対象項目名】図６
【補正方法】変更
【補正の内容】

【図６】

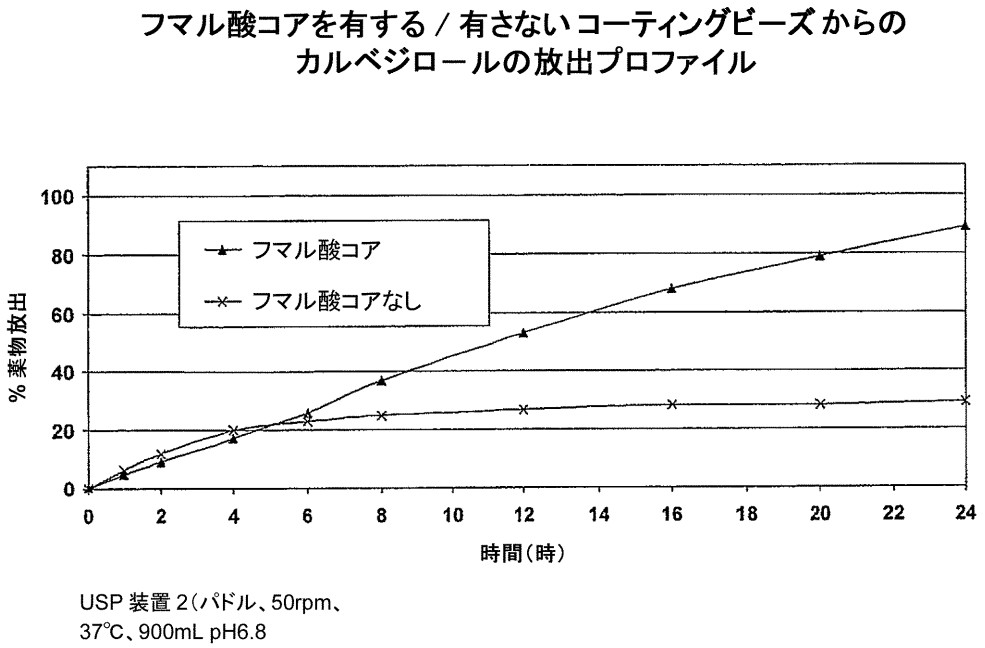


図 6

【手続補正４】
【補正対象書類名】図面
【補正対象項目名】図８
【補正方法】変更
【補正の内容】
【図８】

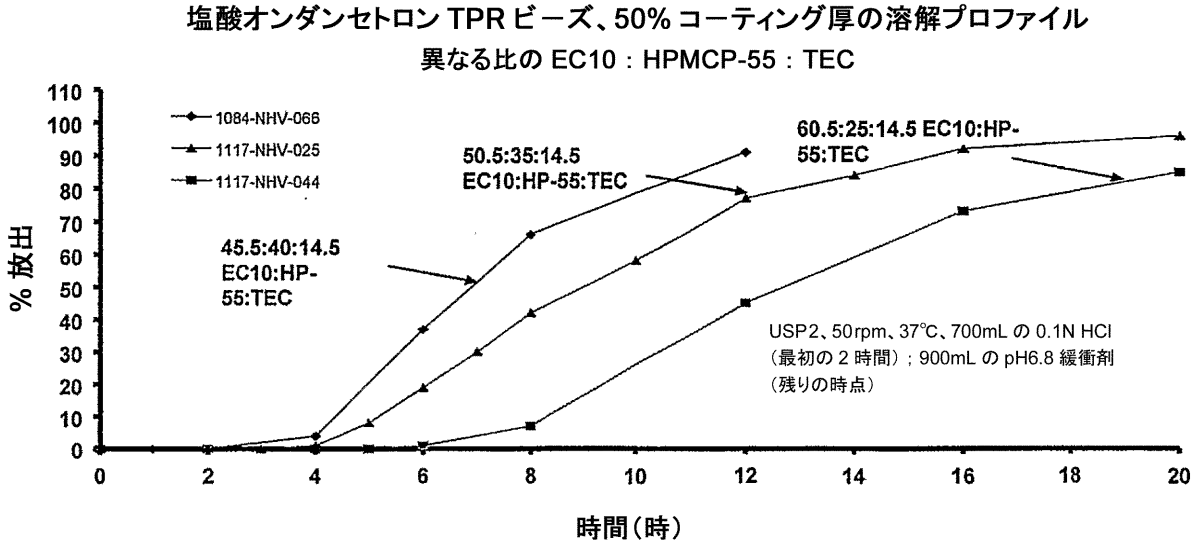


図 8